

自覚症状のない 肝がんの早期発見で実績 断層撮影画像や 血液検査で精密に診察



有馬卓志 副院長
地域医療連携センター長兼務。日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本内科学会認定内科医、日本病院総合診療医学会認定医。介護支援専門員。

手術移植の転院先紹介
慢性肝炎・肝硬変も治療

「加治木温泉病院」で「肝臓内科」を担当する有馬卓志副院長は、慢性肝炎や肝硬変などの肝疾患の治療や肝がんの早期発見で実績を重ねる

ねる日本肝臓学会の専門医である。肝がんは、臓器別がん死亡者数が男性では第3位、女性で第6位を占め、年間3万人を超える人が命を落とす疾患である。「肝臓は、栄養分の代謝、有害物質の分解、エネルギー源の貯蔵、血液凝固因子の産生など、大事な働きをしますが、病気が進行しないと症状

が出ない沈黙の臓器でもあります。肝がんも初期には自覚症状がなく、進行すると周囲の肝細胞が癌細胞に置き換わり、正常な肝臓の機能が障害されていきますので、早期発見、治療が重要です。当科では、エコーやCT、MRIなどの断層撮影検査、血液検査で早期発見に努め、手術や移植が必要な場



☎ 9:00~12:00 14:00~17:30

☎ 日曜日・祝日・土曜日午後

合は、大病院や他の急性期病院で治療できるよう転院先を紹介し、患者さんの通院や家族の看病などの負担がかからないようにしています」

同病院では、機能回復と社会復帰を支援するリハビリテーション科もあり、他院で急性期の肝疾患の治療を受けた人も利用しているという。
(ライター/斎藤 純)

医療法人 玉昌会 加治木温泉病院

かじきおんせんびょういん

☎ 0995-62-0001 ☎ kaon@gyokushoukai.com

☎ 鹿児島県姶良市加治木町木田4714

<https://www.kjko-hp.com/>